

平成21年度秦野市Webアンケート調査
(第4回目)
報告書

平成22年2月

秦野市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	3
2	調査の設計及び回収結果	3
3	アンケートの調査項目	3
4	調査結果をみる上での注意事項	3
II	調査結果（第4回目）	5
1	属性	7
(1)	性別	7
(2)	年齢	7
(3)	居住地区	7
2	環境問題について	8
(1)	秦野の自然環境で気にしているもの	8
(2)	秦野の環境問題で優先して対策を執るべきもの	9
(3)	行政が優先的に配慮すべきもの	10
(4)	環境を守るため市民に何を呼びかけたらよいか	11
3	男女共同参画について	12
(1)	男女平等に対する意識	12
(2)	男女共同参画社会の実現に向けて進めるべき施策	15
(3)	男女共同参画に対する様々な意見	17
(4)	女性の社会参加への障害	22
4	ジェネリック医薬品（後発医薬品）について	23
(1)	ジェネリック医薬品の認知度	23
(2)	ジェネリック医薬品について情報提供してほしいもの	26

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は秦野市の行政サービスの向上と、市民の行政に対する意識向上のための基礎資料とするために実施する。

2 調査の設計及び回収結果

本調査の実施方法は以下のとおりである。

① 調査地域	市内全域
② 調査対象	秦野市のネット調査会社の登録者
③ 対象者数	400人（回収ベース）
④ 母集団	秦野市のネット調査会社の登録者約 1600 人
⑤ 抽出方法	全数
⑥ 調査方法	ネット調査（ヤフーバリューインサイト株）
⑦ 調査期間	平成22年2月03日（水）～2月6日（土）
⑧ 調査機関	㈱経済立地研究所

3 アンケートの調査項目

環境問題について、男女共同参画について、ジェネリック医薬品（後発医薬品）について調査項目を設定した。

4 調査結果をみる上での注意事項

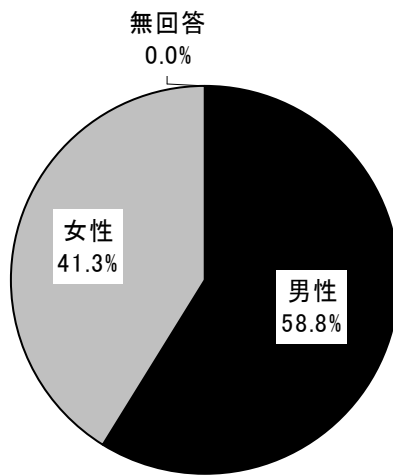
- ① 回答はn（有効回収数）を基数とした百分率で表わし、小数点第2位を四捨五入した。
このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- ② 集計結果の表やグラフでは、コンピューター入力の都合上、回答の選択肢の言葉を短縮して表現している場合がある。
- ③ 全調査項目より選定したもののみを掲載した。

II 調査結果（第4回目）

1 属性

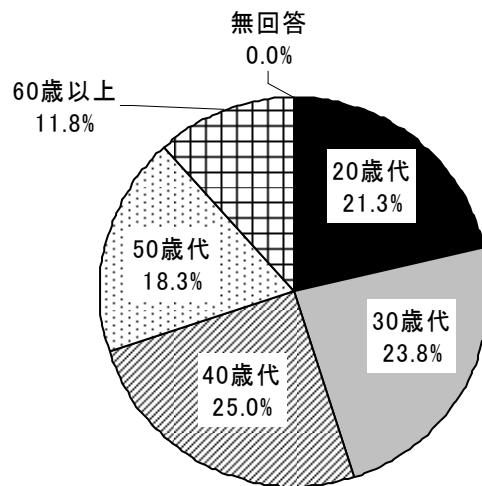
(1) 性別

n=400



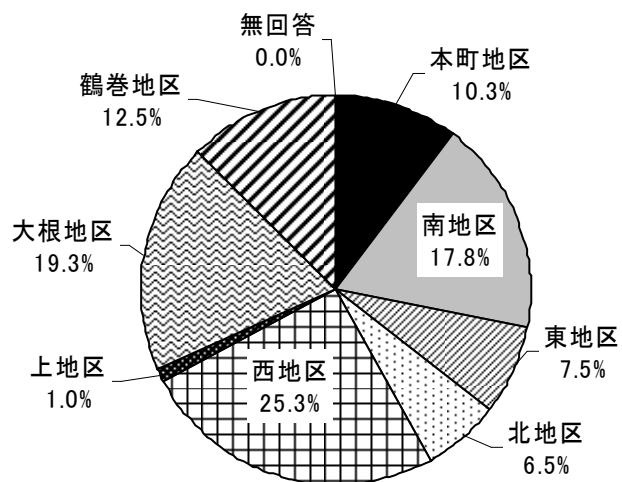
(2) 年齢

n=400



(3) 居住地区

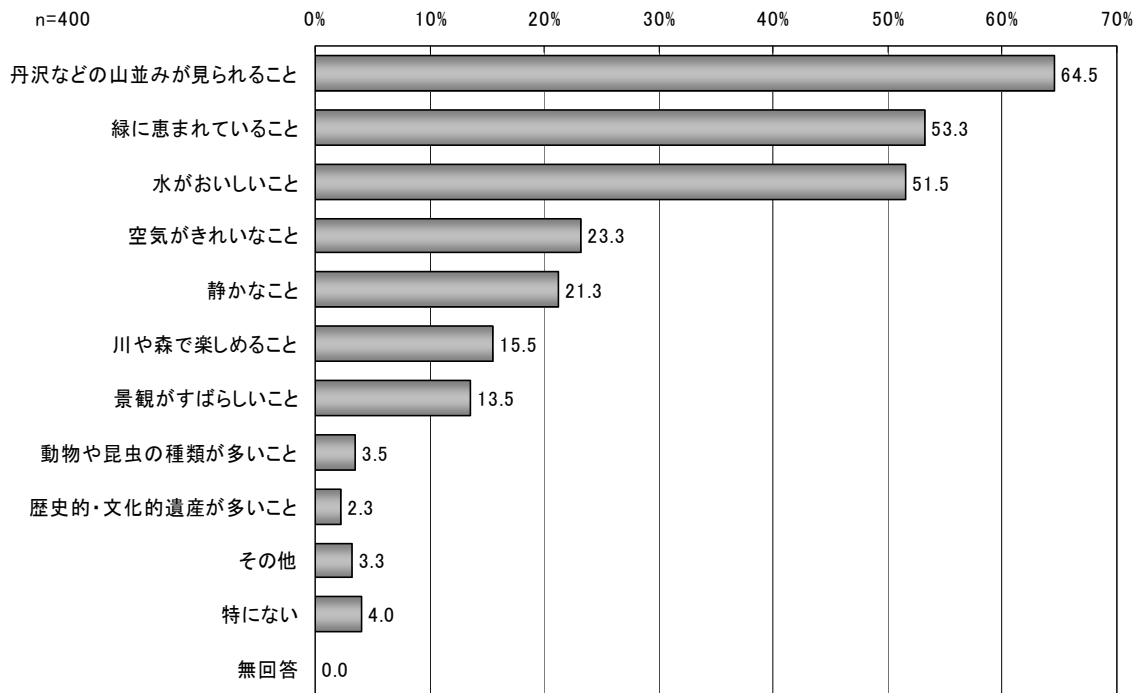
n=400



2 環境問題について

(1) 秦野の自然環境で気に入っているもの

「丹沢などの山並みが見られること」が 64.5%と最も比率が高くなっている。次いで、「緑に恵まれていること」53.3%、「水がおいしいこと」51.5%とつづく。以上の3項目が他の項目より比率が高い3大項目となっている。



性別にみると、男性が女性より比率が高いのは、「丹沢などの山並みが見られること」、「緑に恵まれていること」などで、反対に女性が男性より比率が高いのは、「水がおいしいこと」や「空気がきれいなこと」であった。

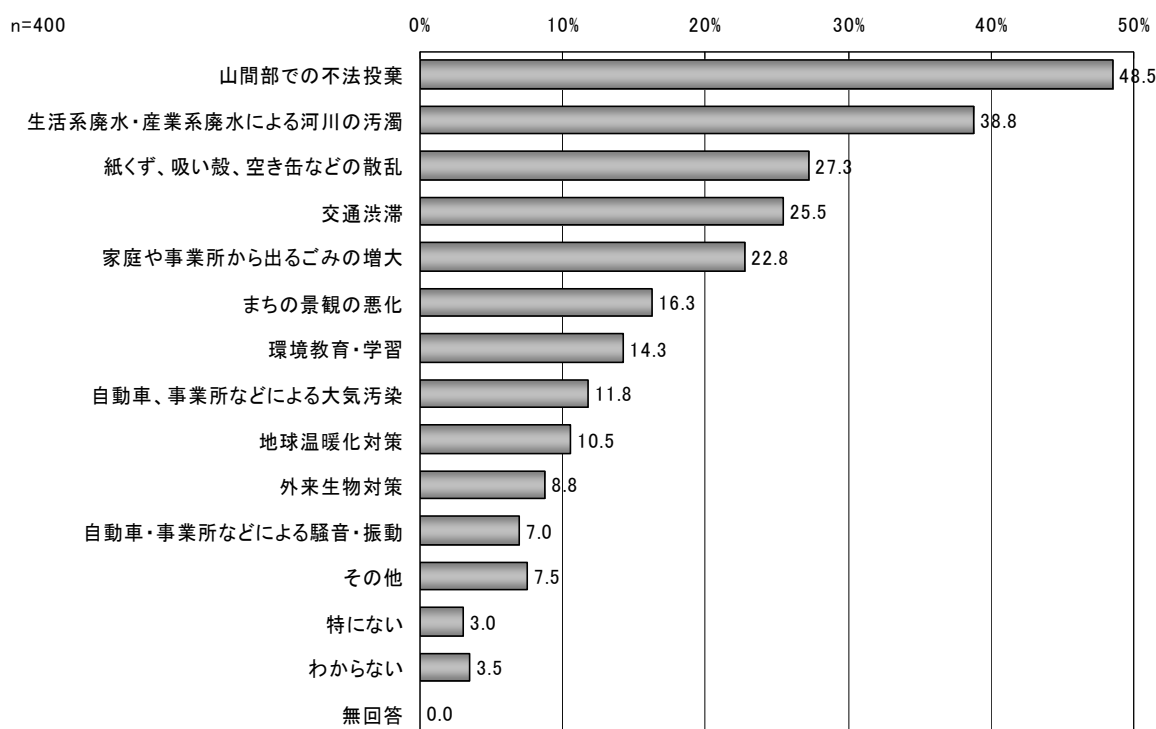
年齢別にみると、「丹沢などの山並みが見られること」は加齢に伴い比率が増加する傾向がみられる。逆に、「緑に恵まれていること」は年齢が若いほど比率が高くなる傾向がみられる。「水がおいしいこと」は40代の59.0%をピークに比率は山型の傾向がみられる。

Q1: あなたが秦野の自然環境で気に入っている点はなんですか。次の中から3つ選んでください。[MA]

	全体 (実数)	とみ 丹 沢 な ど の 山 並	る 緑 こ と 恵 ま れ て い	と 水 が お い し い こ	る 川 こ と 森 で 楽 し め	こ 空 が き れ い な	静 か な こ と	類 動 物 が 多 い 昆 虫 の 種	い 景 観 が す ば ら し	遺 歴 史 的 多 ・ 文 化 的	そ の 他	特 に な い	無 回 答	
全体 (実数)	400	64.5	53.3	51.5	15.5	23.3	21.3	3.5	13.5	2.3	3.3	4.0	0.0	
性別:	男性	235	66.4	54.5	47.7	16.6	20.9	22.6	4.3	14.9	2.6	2.6	2.6	0.0
	女性	165	61.8	51.5	57.0	13.9	26.7	19.4	2.4	11.5	1.8	4.2	6.1	0.0
年代:	20代	85	49.4	55.3	41.2	14.1	22.4	30.6	1.2	11.8	1.2	7.1	7.1	0.0
	30代	95	58.9	61.1	51.6	16.8	25.3	26.3	3.2	9.5	1.1	1.1	4.2	0.0
	40代	100	65.0	49.0	59.0	18.0	20.0	16.0	6.0	13.0	2.0	3.0	4.0	0.0
	50代	73	72.6	46.6	54.8	16.4	26.0	12.3	5.5	11.0	4.1	2.7	2.7	0.0
	60以上	47	89.4	53.2	48.9	8.5	23.4	19.1	0.0	29.8	4.3	2.1	0.0	0.0

(2) 秦野の環境問題で優先して対策を執るべきもの

「山間部での不法投棄」48.5%と最も比率が高くなっている。次いで、「生活系廃水・産業系廃水による河川の汚濁」38.8%、「紙くず、吸い殻、空き缶などの散乱」27.3%、「交通渋滞」25.5%とつづく。



性別でみると、男性が女性より比率が高いのは、「山間部での不法投棄」、「交通渋滞」、「まちの景観の悪化」などで、反対に女性が男性より比率が高いのは、「環境教育・学習」、「地球温暖化対策」などとなっている。

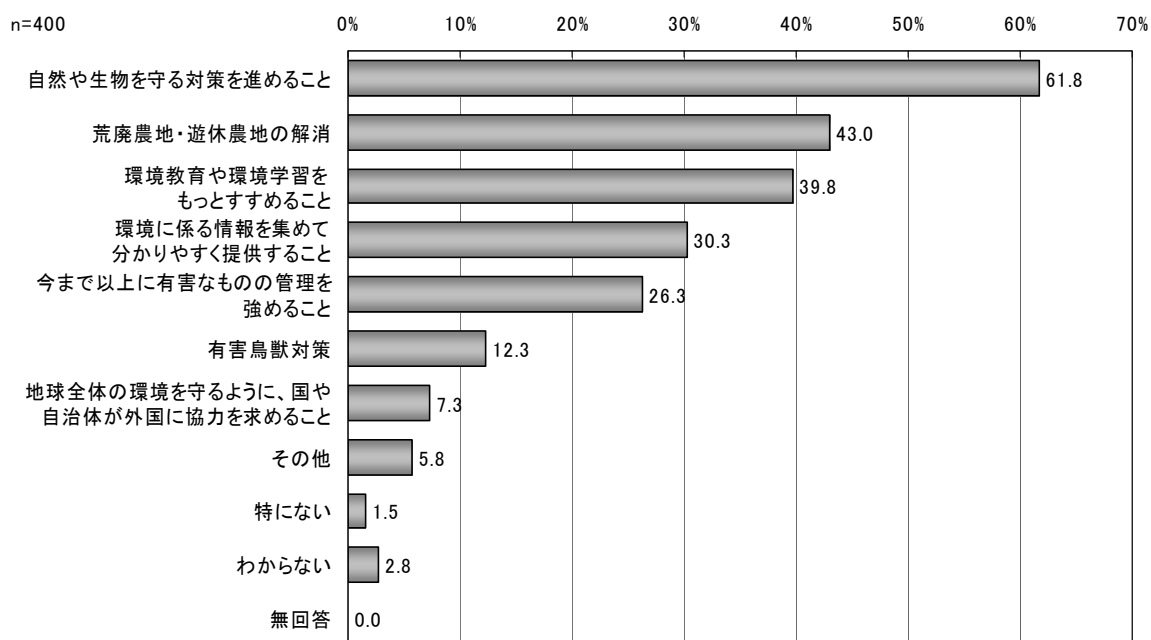
年齢別にみると、「山間部での不法投棄」は40代、50代の関心が高くなっている。「紙くず、吸い殻、空き缶などの散乱」は年齢が若いほど比率が高い傾向がみられる。「交通渋滞」は30代、40代で比率が高いのが目立つ。

Q2: あなたは、秦野の環境問題で優先して対策を執るべきものは何だと思いますか。次の中から3つ選んでください。[MA]

	全体 (実数)	濁よ産生 る業活 川系系 川廃廃 の水水 汚に・	の増大 家庭や 事業所 ごみ	法山 投間 業部 での 不	ど殻紙 の散空 乱きず 缶吸 ない	交通 渋滞	大所自 気な動 汚車、 染に事 る業	悪ま 化ち の景 観の	習環 境教 育・ 学	騒所自 音な動 ・ど車 ・振よ 動による	策地 球温 暖化 対	外 来 生 物 対 策	そ 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答	
全体 (実数)	400	38.8	22.8	48.5	27.3	25.5	11.8	16.3	14.3	7.0	10.5	8.8	7.5	3.0	3.5	0.0	
性別:	男性	235	40.0	22.1	53.2	27.7	29.8	12.3	17.9	9.4	6.8	9.4	10.6	8.5	3.4	0.9	0.0
	女性	165	37.0	23.6	41.8	26.7	19.4	10.9	13.9	21.2	7.3	12.1	6.1	6.1	2.4	7.3	0.0
年代:	20代	85	41.2	20.0	32.9	37.6	22.4	11.8	8.2	12.9	12.9	4.7	5.9	9.4	2.4	7.1	0.0
	30代	95	29.5	18.9	42.1	26.3	30.5	11.6	11.6	20.0	8.4	10.5	5.3	7.4	4.2	3.2	0.0
	40代	100	40.0	23.0	56.0	24.0	34.0	14.0	21.0	15.0	5.0	9.0	5.0	6.0	2.0	2.0	0.0
	50代	73	41.1	26.0	64.4	21.9	13.7	8.2	16.4	15.1	1.4	15.1	17.8	6.8	4.1	2.7	0.0
	60以上	47	46.8	29.8	48.9	25.5	21.3	12.8	29.8	2.1	6.4	17.0	14.9	8.5	2.1	2.1	0.0

(3) 行政が優先的に配慮すべきもの

「自然や生物を守る対策を進めること」が61.8%と最も比率が高くなっている。次いで、「荒廃農地・遊休農地の解消」43.0%、「環境教育や環境学習をもっとすすめること」39.8%とつづく。



性別でみると、男性が女性より比率が高いのは、「今まで以上に有害なものの管理を強めること」、「有害鳥獣対策」などで、反対に女性が男性より比率が高いのは、「環境教育や環境学習をもっとすすめること」などとなっている。

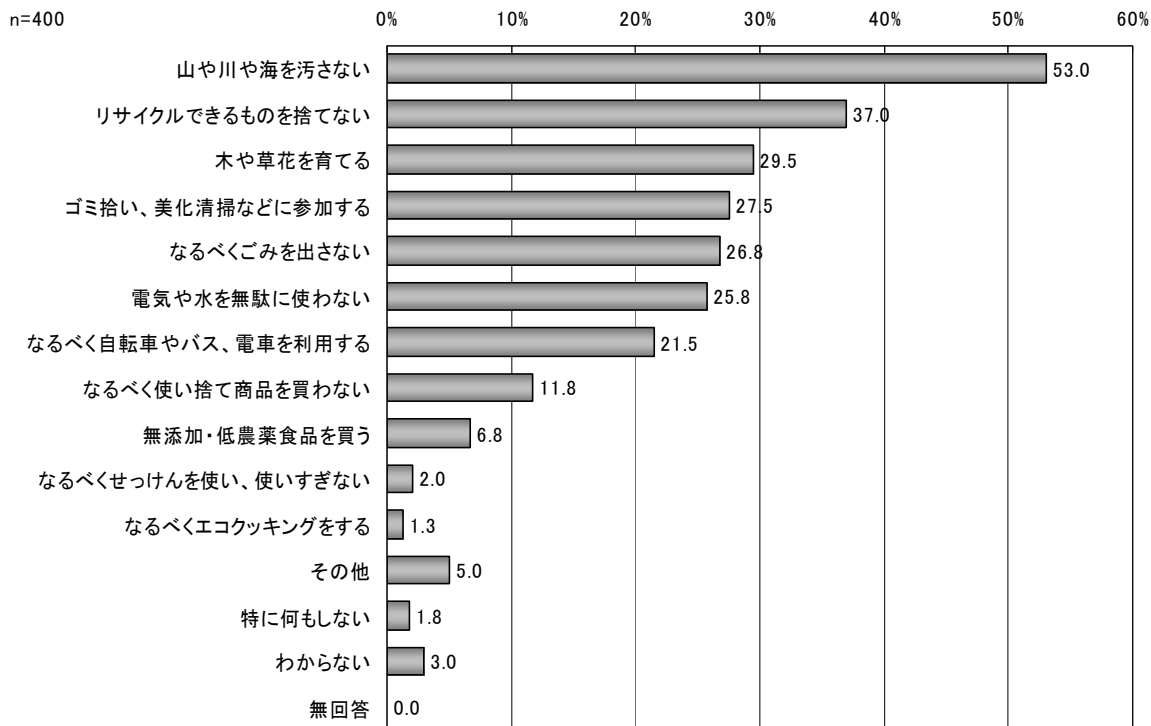
年齢別にみると、「自然や生物を守る対策を進めること」は年齢が若いほど比率が高くなる傾向がみられる。反対に、「荒廃農地・遊休農地の解消」や「今まで以上に有害なものの管理を強めること」は加齢に伴い比率が増加する傾向がみられる。

Q3: 私たちが住んでいる秦野市を次の世代へ良好に引き継ぐために、行政が優先的に配慮すべきことは何だと思えますか。次の中から3つまで選んでください。[MA]

	全体 (実数)	自然や生物を守る対策を進めること	このままの状態で管上を強化する	環境に係る情報を集めて提供すること	環境教育や環境学習をもっとすすめること	の荒廃農地・遊休農地	有害鳥獣対策	地球全体の環境を守るように、国や自治体が外国に協力を求めること	その他	特にない	わからない	無回答
全体 (実数)	400	61.8	26.3	30.3	39.8	43.0	12.3	7.3	5.8	1.5	2.8	0.0
性別:												
男性	235	64.3	31.1	29.4	37.9	43.8	15.7	7.2	6.4	0.9	1.3	0.0
女性	165	58.2	19.4	31.5	42.4	41.8	7.3	7.3	4.8	2.4	4.8	0.0
年代:												
20代	85	68.2	18.8	23.5	37.6	27.1	11.8	3.5	9.4	2.4	5.9	0.0
30代	95	64.2	23.2	35.8	35.8	44.2	8.4	8.4	3.2	1.1	3.2	0.0
40代	100	62.0	30.0	33.0	43.0	42.0	9.0	9.0	6.0	0.0	3.0	0.0
50代	73	54.8	26.0	26.0	43.8	52.1	16.4	9.6	4.1	2.7	0.0	0.0
60以上	47	55.3	38.3	31.9	38.3	57.4	21.3	4.3	6.4	2.1	0.0	0.0

(4) 環境を守るため市民に何を呼びかけたらよいか

「山や川や海を汚さない」が 53.0%と最も比率が高くなっている。次いで、「リサイクルできるものを捨てない」37.0%、「木や草花を育てる」29.5%とつづく。



性別にみると、男性が女性より比率が高いのは、「ゴミ拾い、美化清掃などに参加する」、「なるべくごみを出さない」、「なるべく自転車やバス、電車を利用する」などとなっている。反対に、女性が男性より比率が高いのは、「リサイクルできるものを捨てない」、「電気や水を無駄に使わない」などとなっている。

年齢別にみると、全体的に大きな傾向はみられないものの、「無添加・低農薬食品を買う」は加齢に伴い比率が増加する傾向がみられる。

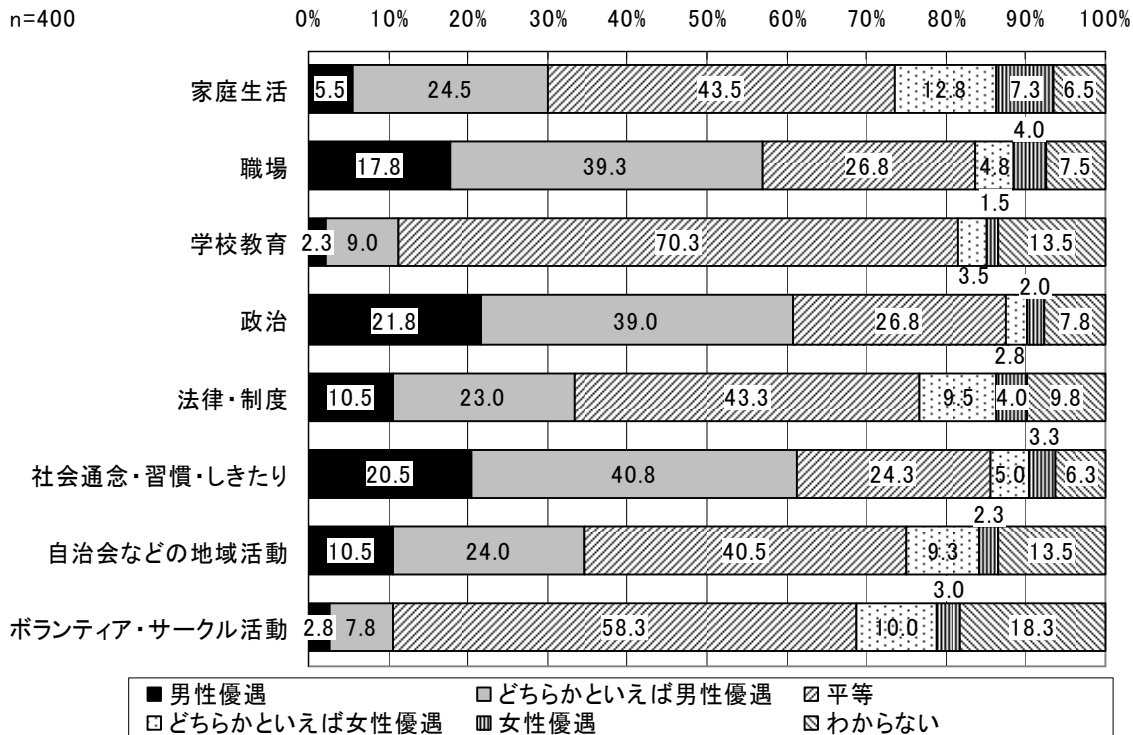
Q4: 環境を守るために市民に何を呼び掛けたらいいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。[MA]

	全体 (実数)	汚 さ や な い 川 や 海 を	て き り な る サ イ ク ル を 捨 て な い	電 気 や 水 を 無 駄 に 使 わ な い	参 加 清 掃 す る に 美 化	を な る 出 さ す べ く な い ご み	わ か ら な い 商 品 を 使 い な い	木 や 草 花 を 育 つ	車 を 利 用 す る 自 転 車	無 添 加 ・ 低 農 薬 食 品 を 買 う	す く す く キ ン グ を コ ク ク キ ン グ	使 い な い し ゃ ん せ つ け な い	な る べ く せ つ け な い	そ の 他	い ち ん ど も し な い	わ か ら な い	無 回 答
全体 (実数)	400	53.0	37.0	25.8	27.5	26.8	11.8	29.5	21.5	6.8	1.3	2.0	5.0	1.8	3.0	0.0	
性別:																	
男性	235	54.5	33.2	20.0	30.6	30.2	11.9	28.1	23.8	7.2	0.4	0.4	6.0	2.6	2.1	0.0	
女性	165	50.9	42.4	33.9	23.0	21.8	11.5	31.5	18.2	6.1	2.4	4.2	3.6	0.6	4.2	0.0	
年代:																	
20代	85	45.9	32.9	21.2	30.6	17.6	9.4	30.6	23.5	3.5	4.7	1.2	5.9	1.2	4.7	0.0	
30代	95	56.8	38.9	32.6	24.2	25.3	7.4	35.8	15.8	5.3	0.0	1.1	2.1	1.1	4.2	0.0	
40代	100	54.0	34.0	21.0	31.0	31.0	10.0	33.0	22.0	4.0	0.0	4.0	4.0	3.0	4.0	0.0	
50代	73	52.1	43.8	27.4	27.4	32.9	20.5	15.1	24.7	8.2	0.0	2.7	5.5	1.4	0.0	0.0	
60以上	47	57.4	36.2	27.7	21.3	27.7	14.9	29.8	23.4	19.1	2.1	0.0	10.6	2.1	0.0	0.0	

3 男女共同参画について

(1) 男女平等に対する意識

「男性優遇」+「どちらかといえば男性優遇」の比率は政治、社会通念・習慣・しきたりや職場で比率が高くなっている。反対に、ボランティア・サークル活動や学校教育ではその比率が小さくなっている。



次ページ以降の表はそれぞれの項目の性別、年齢別の傾向を整理したものである。
 女性が男性より「男性優遇」+「どちらかといえば男性優遇」の比率は全ての項目で高くなっているのが特徴的である。

Q5M001: 家庭生活[SA]

	全体 (実数)	男性 優遇	えど ちらか と 優 い	平 等	えど ちらか と 優 い	女性 優 遇	わ か ら な い	無 回 答	
全体 (実数)	400	5.5	24.5	43.5	12.8	7.3	6.5	0.0	
性別:	男性	235	2.6	18.3	52.8	11.9	7.7	6.8	0.0
	女性	165	9.7	33.3	30.3	13.9	6.7	6.1	0.0
年代:	20代	85	3.5	18.8	42.4	11.8	11.8	0.0	
	30代	95	4.2	28.4	35.8	15.8	8.4	7.4	0.0
	40代	100	10.0	25.0	44.0	10.0	7.0	4.0	0.0
	50代	73	5.5	28.8	49.3	8.2	5.5	2.7	0.0
	60以上	47	2.1	19.1	51.1	21.3	0.0	6.4	0.0

Q5M002: 職場[SA]

	全体 (実数)	男性 優 遇	えど ちらか と 優 い	平 等	えど ちらか と 優 い	女性 優 遇	わ か ら な い	無 回 答	
全体 (実数)	400	17.8	39.3	26.8	4.8	4.0	7.5	0.0	
性別:	男性	235	8.9	40.9	32.8	5.1	6.4	6.0	0.0
	女性	165	30.3	37.0	18.2	4.2	0.6	9.7	0.0
年代:	20代	85	10.6	35.3	28.2	9.4	5.9	10.6	0.0
	30代	95	21.1	50.5	15.8	3.2	4.2	5.3	0.0
	40代	100	23.0	31.0	33.0	4.0	3.0	6.0	0.0
	50代	73	20.5	41.1	26.0	4.1	1.4	6.8	0.0
	60以上	47	8.5	38.3	34.0	2.1	6.4	10.6	0.0

Q5M003: 学校教育[SA]

	全体 (実数)	男性 優 遇	えど ちらか と 優 い	平 等	えど ちらか と 優 い	女性 優 遇	わ か ら な い	無 回 答	
全体 (実数)	400	2.3	9.0	70.3	3.5	1.5	13.5	0.0	
性別:	男性	235	1.3	8.1	73.2	3.4	2.6	11.5	0.0
	女性	165	3.6	10.3	66.1	3.6	0.0	16.4	0.0
年代:	20代	85	1.2	5.9	68.2	7.1	1.2	16.5	0.0
	30代	95	2.1	12.6	69.5	1.1	3.2	11.6	0.0
	40代	100	4.0	4.0	76.0	4.0	2.0	10.0	0.0
	50代	73	2.7	12.3	67.1	2.7	0.0	15.1	0.0
	60以上	47	0.0	12.8	68.1	2.1	0.0	17.0	0.0

Q5M004: 政治[SA]

	全体 (実数)	男性 優 遇	えど ちらか と 優 い	平 等	えど ちらか と 優 い	女性 優 遇	わ か ら な い	無 回 答	
全体 (実数)	400	21.8	39.0	26.8	2.8	2.0	7.8	0.0	
性別:	男性	235	11.5	43.8	30.6	3.4	3.4	7.2	0.0
	女性	165	36.4	32.1	21.2	1.8	0.0	8.5	0.0
年代:	20代	85	21.2	32.9	30.6	3.5	2.4	9.4	0.0
	30代	95	28.4	36.8	23.2	0.0	1.1	10.5	0.0
	40代	100	26.0	41.0	23.0	3.0	2.0	5.0	0.0
	50代	73	20.5	41.1	26.0	4.1	2.7	5.5	0.0
	60以上	47	2.1	46.8	36.2	4.3	2.1	8.5	0.0

Q5M005: 法律・制度[SA]

	全体 (実数)	男性 優遇	えど ちらか と 優 い	平 等	えど ちらか と 優 い	女性 優 遇	わ か ら な い	無 回 答
全体 (実数)	400	10.5	23.0	43.3	9.5	4.0	9.8	0.0
性別:								
男性	235	5.1	19.1	50.2	10.6	6.4	8.5	0.0
女性	165	18.2	28.5	33.3	7.9	0.6	11.5	0.0
年代:								
20代	85	5.9	15.3	45.9	14.1	5.9	12.9	0.0
30代	95	12.6	25.3	41.1	5.3	4.2	11.6	0.0
40代	100	18.0	21.0	42.0	11.0	2.0	6.0	0.0
50代	73	9.6	28.8	43.8	6.8	2.7	8.2	0.0
60以上	47	0.0	27.7	44.7	10.6	6.4	10.6	0.0

Q5M006: 社会通念・習慣・しきたり[SA]

	全体 (実数)	男性 優遇	えど ちらか と 優 い	平 等	えど ちらか と 優 い	女性 優 遇	わ か ら な い	無 回 答
全体 (実数)	400	20.5	40.8	24.3	5.0	3.3	6.3	0.0
性別:								
男性	235	12.8	42.1	26.8	6.8	5.5	6.0	0.0
女性	165	31.5	38.8	20.6	2.4	0.0	6.7	0.0
年代:								
20代	85	15.3	24.7	36.5	8.2	3.5	11.8	0.0
30代	95	16.8	44.2	22.1	5.3	3.2	8.4	0.0
40代	100	29.0	35.0	23.0	4.0	4.0	5.0	0.0
50代	73	30.1	52.1	11.0	2.7	1.4	2.7	0.0
60以上	47	4.3	57.4	29.8	4.3	4.3	0.0	0.0

Q5M007: 自治会などの地域活動[SA]

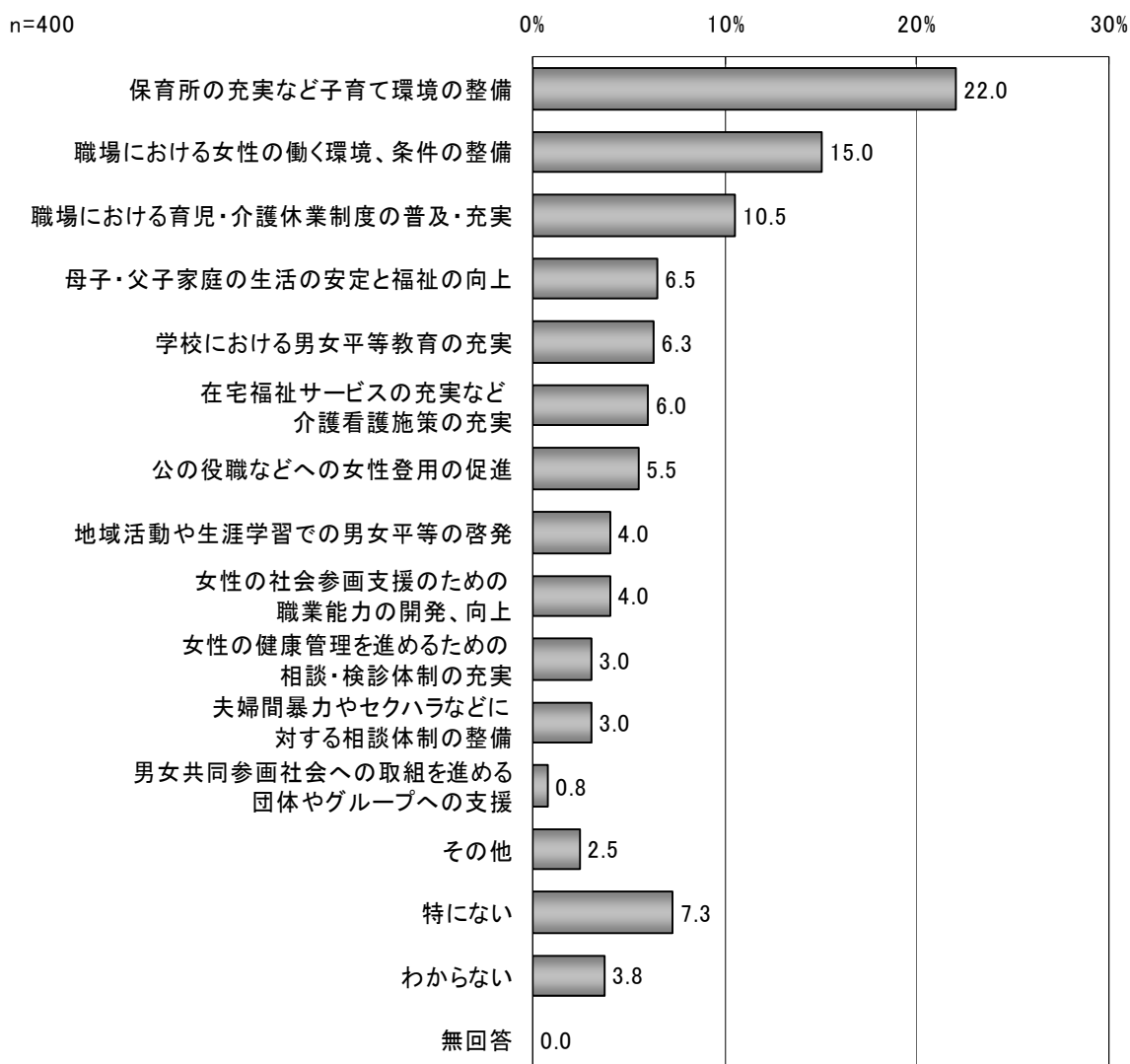
	全体 (実数)	男性 優遇	えど ちらか と 優 い	平 等	えど ちらか と 優 い	女性 優 遇	わ か ら な い	無 回 答
全体 (実数)	400	10.5	24.0	40.5	9.3	2.3	13.5	0.0
性別:								
男性	235	7.2	20.0	45.5	11.9	3.0	12.3	0.0
女性	165	15.2	29.7	33.3	5.5	1.2	15.2	0.0
年代:								
20代	85	4.7	16.5	43.5	10.6	3.5	21.2	0.0
30代	95	10.5	25.3	41.1	6.3	2.1	14.7	0.0
40代	100	15.0	25.0	37.0	11.0	2.0	10.0	0.0
50代	73	15.1	31.5	34.2	9.6	1.4	8.2	0.0
60以上	47	4.3	21.3	51.1	8.5	2.1	12.8	0.0

Q5M008: ボランティア・サークル活動[SA]

	全体 (実数)	男性 優遇	えど ちらか と 優 い	平 等	えど ちらか と 優 い	女性 優 遇	わ か ら な い	無 回 答
全体 (実数)	400	2.8	7.8	58.3	10.0	3.0	18.3	0.0
性別:								
男性	235	2.1	6.8	60.0	12.3	3.4	15.3	0.0
女性	165	3.6	9.1	55.8	6.7	2.4	22.4	0.0
年代:								
20代	85	2.4	4.7	55.3	7.1	3.5	27.1	0.0
30代	95	4.2	6.3	62.1	8.4	4.2	14.7	0.0
40代	100	3.0	10.0	57.0	7.0	3.0	20.0	0.0
50代	73	1.4	9.6	54.8	20.5	1.4	12.3	0.0
60以上	47	2.1	8.5	63.8	8.5	2.1	14.9	0.0

(2) 男女共同参画社会の実現に向けて進めるべき施策

「保育所の充実など子育て環境の整備」が 22.0%と最も比率が高くなっている。次いで、「職場における女性の働く環境、条件の整備」15.0%、「職場における育児・介護休業制度の普及・充実」10.5%とつづく。



性別にみると、男性が女性より比率が高いのは、「学校における男女平等教育の充実」となっている。反対に、女性が男性より比率が高いのは、「保育所の充実など子育て環境の整備」、「職場における女性の働く環境、条件の整備」などとなっている。

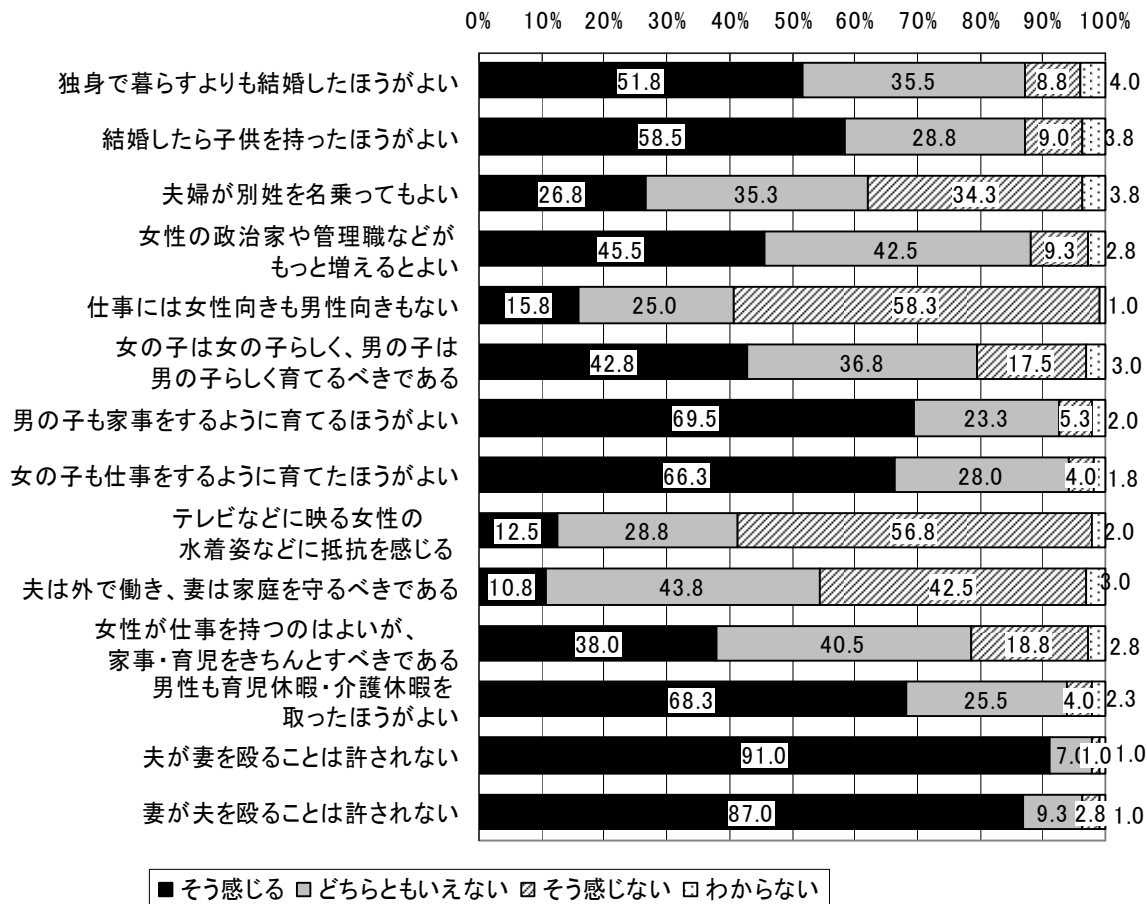
年齢別にみると、「保育所の充実など子育て環境の整備」は30代で比率が高いのが目立つ。「職場における女性の働く環境、条件の整備」は60代以上で比率が低くなっている。50代は「学校における男女平等教育の充実」で比率が高く、反対に、「職場における育児・介護休業制度の普及・充実」で比率が低くなっている。

Q6: 男女共同参画社会の実現に向けて進めるべき施策について、積極的に進めるべきだと思う施策はどれですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。[SA]

	全体 (実数)	平等学校 教育にお ける充 実	啓習地 域の活 動や生 涯の学	力援女 性の開 発のた め社会 参画支	のの職 働場 にお ける 条件 女性	子保 育所 の充 実な ど	の児職 場 に お ける 普 及・ 介 護 休 業 制 度 の 充 実	護の 施 策 な ど 介 護 看	の生 活の 向 上	実談進 ・め る た め の 相 充	女公 の役 登 用 の 促 進	の団 体の 支 援	男 女 共 同 参 画 社 会 の 支 援	相ハ らな ど に 対 す る	夫 婦 間 暴 力 や セ ク ス ハ ラ ウ ン ド に 対 す る	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体 (実数)	400	6.3	4.0	4.0	15.0	22.0	10.5	6.0	6.5	3.0	5.5	0.8	3.0	2.5	7.3	3.8	0.0		
性別:																			
男性	235	8.1	5.1	3.0	13.6	19.1	10.2	6.4	7.2	1.3	5.5	1.3	3.8	2.6	9.4	3.4	0.0		
女性	165	3.6	2.4	5.5	17.0	26.1	10.9	5.5	5.5	5.5	5.5	0.0	1.8	2.4	4.2	4.2	0.0		
年代:																			
20代	85	5.9	1.2	1.2	18.8	18.8	7.1	4.7	14.1	2.4	4.7	0.0	3.5	2.4	10.6	4.7	0.0		
30代	95	3.2	4.2	5.3	13.7	31.6	12.6	4.2	5.3	5.3	1.1	1.1	1.1	1.1	6.3	4.2	0.0		
40代	100	5.0	2.0	3.0	15.0	23.0	12.0	8.0	3.0	4.0	6.0	0.0	5.0	2.0	8.0	4.0	0.0		
50代	73	12.3	4.1	5.5	16.4	15.1	4.1	6.8	6.8	1.4	12.3	0.0	1.4	5.5	4.1	4.1	0.0		
60以上	47	6.4	12.8	6.4	8.5	17.0	19.1	6.4	2.1	0.0	4.3	4.3	4.3	2.1	6.4	0.0	0.0		

(3) 男女共同参画に対する様々な意見

「そう感じる」比率が低いのは、『夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである』、『テレビなどに映る女性の水着姿などに抵抗を感じる』や『仕事には女性向きも男性向きもない』などとなっている。「どちらともいえない」比率が高いのは、『夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである』、『女性が仕事をもつのはよいが、家事・育児をきちんとすべきである』などとなっている。



次ページ以降の表は各項目毎に、性別、年齢別の傾向を整理したものである。

Q7M001: 独身で暮らすよりも結婚したほうがよい[SA]

		全体 (実数)	そう 感じる	えど ちらと もい	そう 感じ ない	わ か ら な い	無 回 答
全体 (実数)		400	51.8	35.5	8.8	4.0	0.0
性別:	男性	235	54.5	31.9	10.2	3.4	0.0
	女性	165	47.9	40.6	6.7	4.8	0.0
年代:	20代	85	47.1	35.3	12.9	4.7	0.0
	30代	95	52.6	38.9	5.3	3.2	0.0
	40代	100	42.0	43.0	11.0	4.0	0.0
	50代	73	54.8	31.5	9.6	4.1	0.0
	60以上	47	74.5	19.1	2.1	4.3	0.0

Q7M002: 結婚したら子供を持ったほうがよい[SA]

		全体 (実数)	そう 感じる	えど ちらと もい	そう 感じ ない	わ か ら な い	無 回 答
全体 (実数)		400	58.5	28.8	9.0	3.8	0.0
性別:	男性	235	63.0	25.1	8.9	3.0	0.0
	女性	165	52.1	33.9	9.1	4.8	0.0
年代:	20代	85	51.8	30.6	12.9	4.7	0.0
	30代	95	50.5	36.8	8.4	4.2	0.0
	40代	100	52.0	33.0	11.0	4.0	0.0
	50代	73	67.1	23.3	6.8	2.7	0.0
	60以上	47	87.2	8.5	2.1	2.1	0.0

Q7M003: 夫婦が別姓を名乗ってもよい[SA]

		全体 (実数)	そう 感じる	えど ちらと もい	そう 感じ ない	わ か ら な い	無 回 答
全体 (実数)		400	26.8	35.3	34.3	3.8	0.0
性別:	男性	235	21.7	35.7	39.6	3.0	0.0
	女性	165	33.9	34.5	26.7	4.8	0.0
年代:	20代	85	30.6	27.1	41.2	1.2	0.0
	30代	95	28.4	34.7	30.5	6.3	0.0
	40代	100	26.0	39.0	32.0	3.0	0.0
	50代	73	30.1	39.7	27.4	2.7	0.0
	60以上	47	12.8	36.2	44.7	6.4	0.0

Q7M004: 女性の政治家や管理職などがもっと増えるとよい[SA]

		全体 (実数)	そう 感じる	えど ちらと もい	そう 感じ ない	わ か ら な い	無 回 答
全体 (実数)		400	45.5	42.5	9.3	2.8	0.0
性別:	男性	235	35.3	50.6	11.5	2.6	0.0
	女性	165	60.0	30.9	6.1	3.0	0.0
年代:	20代	85	40.0	44.7	14.1	1.2	0.0
	30代	95	49.5	43.2	4.2	3.2	0.0
	40代	100	45.0	39.0	11.0	5.0	0.0
	50代	73	47.9	42.5	8.2	1.4	0.0
	60以上	47	44.7	44.7	8.5	2.1	0.0

Q7M005: 仕事には女性向きも男性向きもない[SA]

	全体 (実数)	そう 感じる	えど ちらと もい	そう 感じ ない	わ か ら な い	無 回 答	
全体 (実数)	400	15.8	25.0	58.3	1.0	0.0	
性別:	男性	235	15.3	23.4	60.4	0.9	0.0
	女性	165	16.4	27.3	55.2	1.2	0.0
年代:	20代	85	21.2	20.0	57.6	1.2	0.0
	30代	95	14.7	27.4	55.8	2.1	0.0
	40代	100	16.0	24.0	59.0	1.0	0.0
	50代	73	11.0	26.0	63.0	0.0	0.0
	60以上	47	14.9	29.8	55.3	0.0	0.0

Q7M006: 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるべきである[SA]

	全体 (実数)	そう 感じる	えど ちらと もい	そう 感じ ない	わ か ら な い	無 回 答	
全体 (実数)	400	42.8	36.8	17.5	3.0	0.0	
性別:	男性	235	52.3	29.4	14.9	3.4	0.0
	女性	165	29.1	47.3	21.2	2.4	0.0
年代:	20代	85	32.9	38.8	25.9	2.4	0.0
	30代	95	41.1	37.9	17.9	3.2	0.0
	40代	100	43.0	41.0	11.0	5.0	0.0
	50代	73	45.2	32.9	20.5	1.4	0.0
	60以上	47	59.6	27.7	10.6	2.1	0.0

Q7M007: 男の子も家事をするように育てるほうがよい[SA]

	全体 (実数)	そう 感じる	えど ちらと もい	そう 感じ ない	わ か ら な い	無 回 答	
全体 (実数)	400	69.5	23.3	5.3	2.0	0.0	
性別:	男性	235	57.9	32.3	7.7	2.1	0.0
	女性	165	86.1	10.3	1.8	1.8	0.0
年代:	20代	85	68.2	25.9	4.7	1.2	0.0
	30代	95	69.5	25.3	3.2	2.1	0.0
	40代	100	70.0	20.0	7.0	3.0	0.0
	50代	73	75.3	20.5	4.1	0.0	0.0
	60以上	47	61.7	25.5	8.5	4.3	0.0

Q7M008: 女の子も仕事をするように育てたほうがよい[SA]

	全体 (実数)	そう 感じる	えど ちらと もい	そう 感じ ない	わ か ら な い	無 回 答	
全体 (実数)	400	66.3	28.0	4.0	1.8	0.0	
性別:	男性	235	56.2	36.6	5.5	1.7	0.0
	女性	165	80.6	15.8	1.8	1.8	0.0
年代:	20代	85	60.0	36.5	2.4	1.2	0.0
	30代	95	68.4	27.4	2.1	2.1	0.0
	40代	100	67.0	25.0	5.0	3.0	0.0
	50代	73	69.9	27.4	2.7	0.0	0.0
	60以上	47	66.0	21.3	10.6	2.1	0.0

Q7M009: テレビなどに映る女性の水着姿などに抵抗を感じる[SA]

	全体 (実数)	そう 感じる	え ど ち ら と も い え な い	そう 感 じ な い	わ か ら な い	無 回 答
全体 (実数)	400	12.5	28.8	56.8	2.0	0.0
性別:						
男性	235	6.8	28.9	62.6	1.7	0.0
女性	165	20.6	28.5	48.5	2.4	0.0
年代:						
20代	85	12.9	21.2	63.5	2.4	0.0
30代	95	11.6	26.3	60.0	2.1	0.0
40代	100	12.0	32.0	53.0	3.0	0.0
50代	73	16.4	31.5	50.7	1.4	0.0
60以上	47	8.5	36.2	55.3	0.0	0.0

Q7M010: 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである[SA]

	全体 (実数)	そう 感じる	え ど ち ら と も い え な い	そう 感 じ な い	わ か ら な い	無 回 答
全体 (実数)	400	10.8	43.8	42.5	3.0	0.0
性別:						
男性	235	14.5	48.1	35.3	2.1	0.0
女性	165	5.5	37.6	52.7	4.2	0.0
年代:						
20代	85	7.1	40.0	48.2	4.7	0.0
30代	95	16.8	40.0	40.0	3.2	0.0
40代	100	8.0	43.0	45.0	4.0	0.0
50代	73	8.2	50.7	39.7	1.4	0.0
60以上	47	14.9	48.9	36.2	0.0	0.0

Q7M011: 女性が仕事を持つのはよいが、家事・育児をきちんとすべきである[SA]

	全体 (実数)	そう 感じる	え ど ち ら と も い え な い	そう 感 じ な い	わ か ら な い	無 回 答
全体 (実数)	400	38.0	40.5	18.8	2.8	0.0
性別:						
男性	235	42.1	41.3	14.9	1.7	0.0
女性	165	32.1	39.4	24.2	4.2	0.0
年代:						
20代	85	30.6	37.6	28.2	3.5	0.0
30代	95	41.1	37.9	17.9	3.2	0.0
40代	100	40.0	43.0	13.0	4.0	0.0
50代	73	32.9	46.6	19.2	1.4	0.0
60以上	47	48.9	36.2	14.9	0.0	0.0

Q7M012: 男性も育児休暇・介護休暇を取ったほうがよい[SA]

	全体 (実数)	そう 感じる	え ど ち ら と も い え な い	そう 感 じ な い	わ か ら な い	無 回 答
全体 (実数)	400	68.3	25.5	4.0	2.3	0.0
性別:						
男性	235	64.3	28.1	5.5	2.1	0.0
女性	165	73.9	21.8	1.8	2.4	0.0
年代:						
20代	85	77.6	18.8	2.4	1.2	0.0
30代	95	67.4	28.4	3.2	1.1	0.0
40代	100	65.0	25.0	6.0	4.0	0.0
50代	73	72.6	26.0	0.0	1.4	0.0
60以上	47	53.2	31.9	10.6	4.3	0.0

Q7M013: 夫が妻を殴ることは許されない[SA]

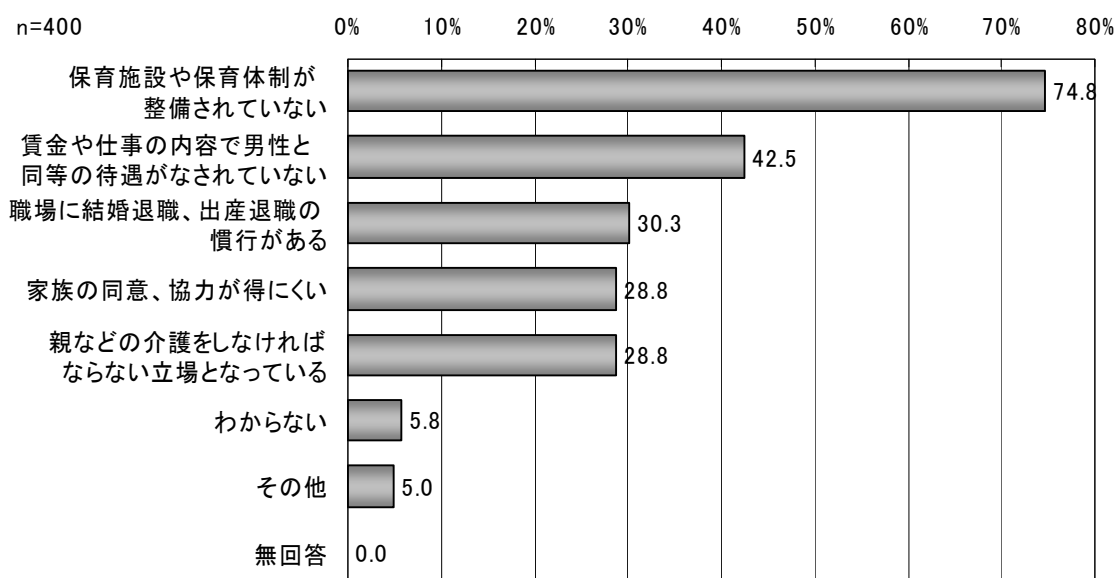
		全体 (実数)	そう 感じる	えど ちらと もい	そう 感じ ない	わ か ら な い	無 回 答
全体 (実数)		400	91.0	7.0	1.0	1.0	0.0
性別:	男性	235	87.2	9.8	1.7	1.3	0.0
	女性	165	96.4	3.0	0.0	0.6	0.0
年代:	20代	85	92.9	5.9	0.0	1.2	0.0
	30代	95	92.6	5.3	1.1	1.1	0.0
	40代	100	90.0	8.0	2.0	0.0	0.0
	50代	73	93.2	6.8	0.0	0.0	0.0
	60以上	47	83.0	10.6	2.1	4.3	0.0

Q7M014: 妻が夫を殴ることは許されない[SA]

		全体 (実数)	そう 感じる	えど ちらと もい	そう 感じ ない	わ か ら な い	無 回 答
全体 (実数)		400	87.0	9.3	2.8	1.0	0.0
性別:	男性	235	84.7	11.5	2.6	1.3	0.0
	女性	165	90.3	6.1	3.0	0.6	0.0
年代:	20代	85	90.6	4.7	3.5	1.2	0.0
	30代	95	84.2	11.6	3.2	1.1	0.0
	40代	100	87.0	10.0	3.0	0.0	0.0
	50代	73	90.4	8.2	1.4	0.0	0.0
	60以上	47	80.9	12.8	2.1	4.3	0.0

(4) 女性の社会参加への障害

「保育施設や保育体制が整備されていない」が74.8%と最も高い比率となっている。次いで、「賃金や仕事の内容で男性と同等の待遇がなされていない」42.5%、「職場に結婚退職、出産退職の慣行がある」30.3%とつづく。



性別にみると、多くの項目で男性より女性の比率が高くなっているのが特徴である。特に、「親などの介護をしなければならぬ立場となっている」、「家族の同意、協力が得にくい」や「賃金や仕事の内容で男性と同等の待遇がなされていない」などは女性の比率が男性よりかなり高いのが目立つ。

年齢別にみると、特に目立った傾向はみられない。

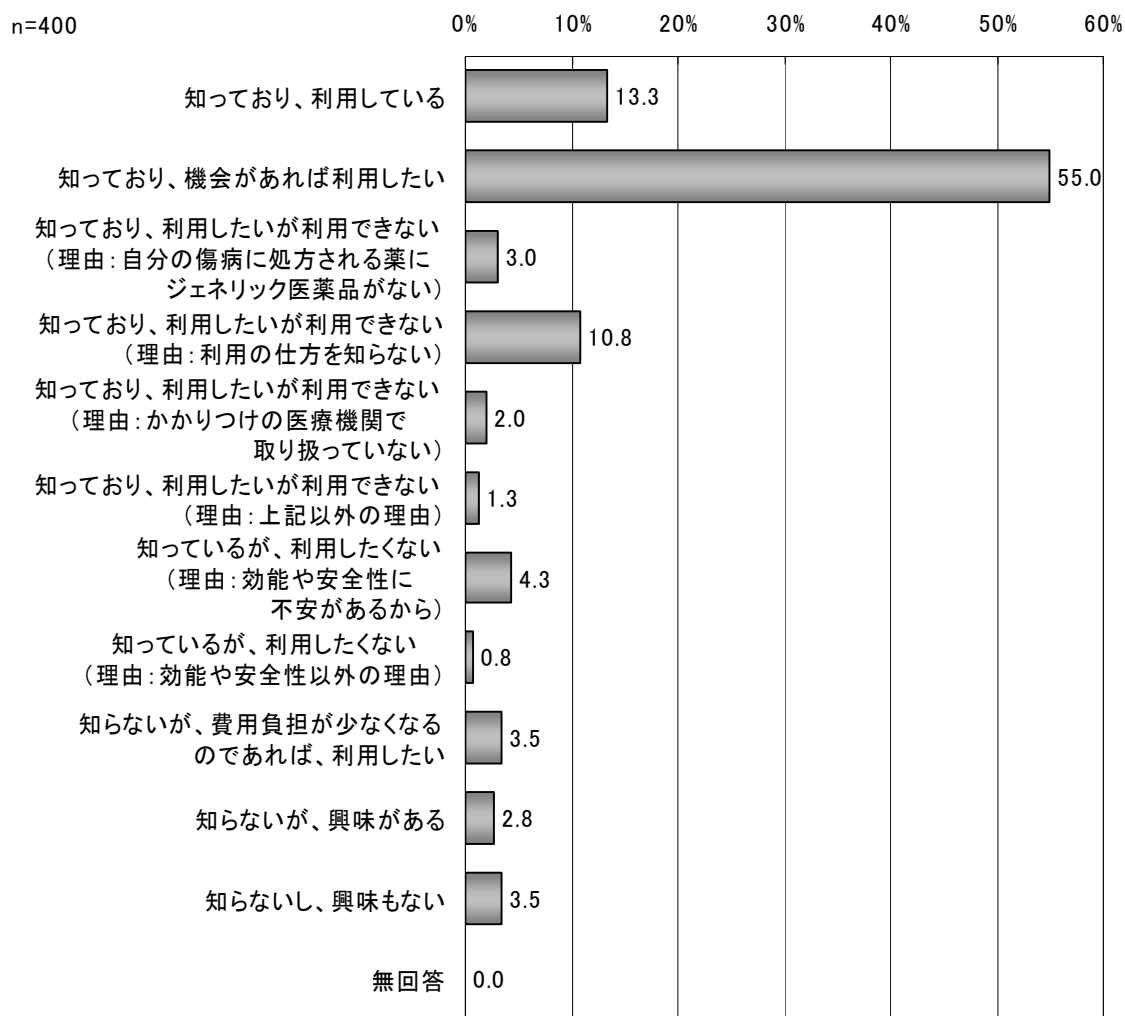
Q8: 女性が職業に就いたり、仕事を続けたりする上での障害となっているものは何だと思えますか。あてはまるものを選んでください。〔

	全体 (実数)	保育施設や 保育体制が 整備されて いない	賃金や仕事 の内容で男性 と同等の待 遇がなされ ていない	家族の同意 、協力が 得にくい	親などの 介護を しなければ ならぬ立 場となっ ている	職場に結 婚退職、 出産退職 の慣行が ある	その他	わ か ら な い	無 回 答
全体 (実数)	400	74.8	42.5	28.8	28.8	30.3	5.0	5.8	0.0
性別:									
男性	235	74.9	38.3	20.9	19.6	29.4	3.8	6.4	0.0
女性	165	74.5	48.5	40.0	41.8	31.5	6.7	4.8	0.0
年代:									
20代	85	75.3	36.5	22.4	20.0	41.2	9.4	7.1	0.0
30代	95	77.9	41.1	25.3	29.5	28.4	4.2	6.3	0.0
40代	100	72.0	48.0	40.0	29.0	26.0	3.0	6.0	0.0
50代	73	75.3	38.4	21.9	35.6	32.9	5.5	2.7	0.0
60以上	47	72.3	51.1	34.0	31.9	19.1	2.1	6.4	0.0

4 ジェネリック医薬品（後発医薬品）について

(1) ジェネリック医薬品の認知度

「知っており、機会があれば利用したい」が 55.0%と最も比率が高くなっている。次いで、「知っており、利用している」13.3%、「知っており、利用したいが利用できない（理由：利用の仕方を知らない）」10.8%とつづく。認知度は非常に高くなっているが利用となると、今1つという結果となっている。



性別にみると、あまり大きな差異はみられない。

年齢別にみると、「知っており、利用している」は60代以上で比率が高くなっている。

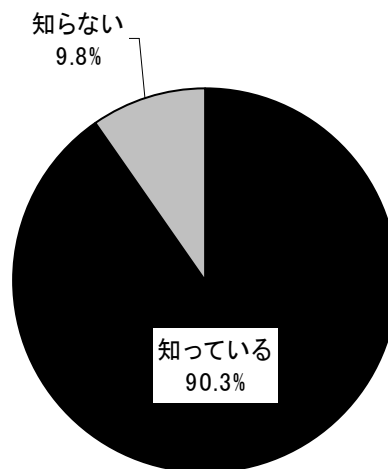
Q9: 薬代の窓口負担が少なくなるジェネリック医薬品（後発医薬品）を知っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。[SA]

	全体（実数）	知っており、 利用している	知っており、 機会があれば利用 したい	知っており、 利用したいが利用 できない（理由：ジェ ネリック医薬品に 処方されない）	知っており、 利用したいが利用 できない（理由：利 用したいが利用 できない）	知っており、 利用したいが利用 できない（理由：理 療機関で取り扱 っていない）	知っており、 利用したいが利用 できない（理由：理 療機関で取り扱 っていない）	知っており、 利用したいが利用 できない（理由：理 療機関で取り扱 っていない）	知っており、 利用したいが利用 できない（理由：理 療機関で取り扱 っていない）	知っており、 利用したいが利用 できない（理由：理 療機関で取り扱 っていない）	知っており、 利用したいが利用 できない（理由：理 療機関で取り扱 っていない）	知っており、 利用したいが利用 できない（理由：理 療機関で取り扱 っていない）	知っており、 利用したいが利用 できない（理由：理 療機関で取り扱 っていない）	無回答
全体（実数）	400	13.3	55.0	3.0	10.8	2.0	1.3	4.3	0.8	3.5	2.8	3.5	0.0	
性別：														
男性	235	14.9	57.0	4.3	8.5	1.7	1.3	3.0	0.9	3.0	2.6	3.0	0.0	
女性	165	10.9	52.1	1.2	13.9	2.4	1.2	6.1	0.6	4.2	3.0	4.2	0.0	
年代：														
20代	85	10.6	55.3	3.5	11.8	0.0	0.0	5.9	1.2	4.7	3.5	3.5	0.0	
30代	95	7.4	48.4	3.2	15.8	3.2	3.2	5.3	0.0	5.3	4.2	4.2	0.0	
40代	100	17.0	56.0	0.0	6.0	3.0	2.0	3.0	1.0	3.0	2.0	7.0	0.0	
50代	73	11.0	63.0	4.1	12.3	1.4	0.0	4.1	1.4	0.0	2.7	0.0	0.0	
60以上	47	25.5	53.2	6.4	6.4	2.1	0.0	2.1	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	

以下の①から③のグラフは回答結果をわかり易くするために、整理し直したものである。

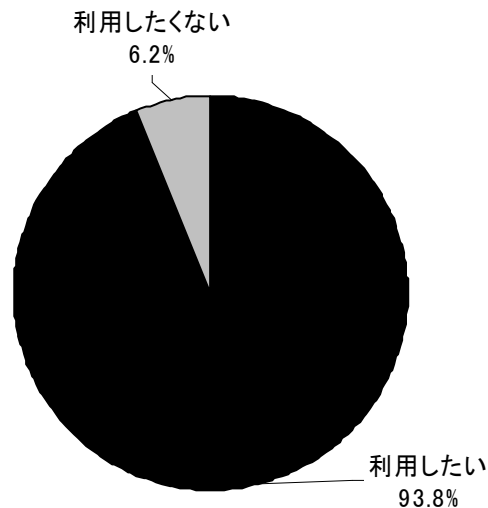
① 知っている人と知らない人の割合

n=400
ジェネリック医薬品を「知っている」人は全体の9割を占めている。



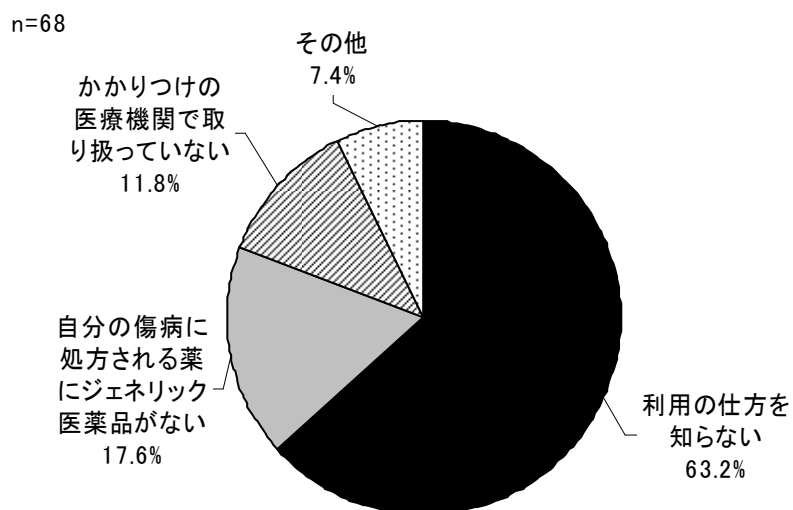
② 利用したい人と利用したくない人の割合
n=322

今後「利用したい」人は93.8%と非常に比率が高くなっている。



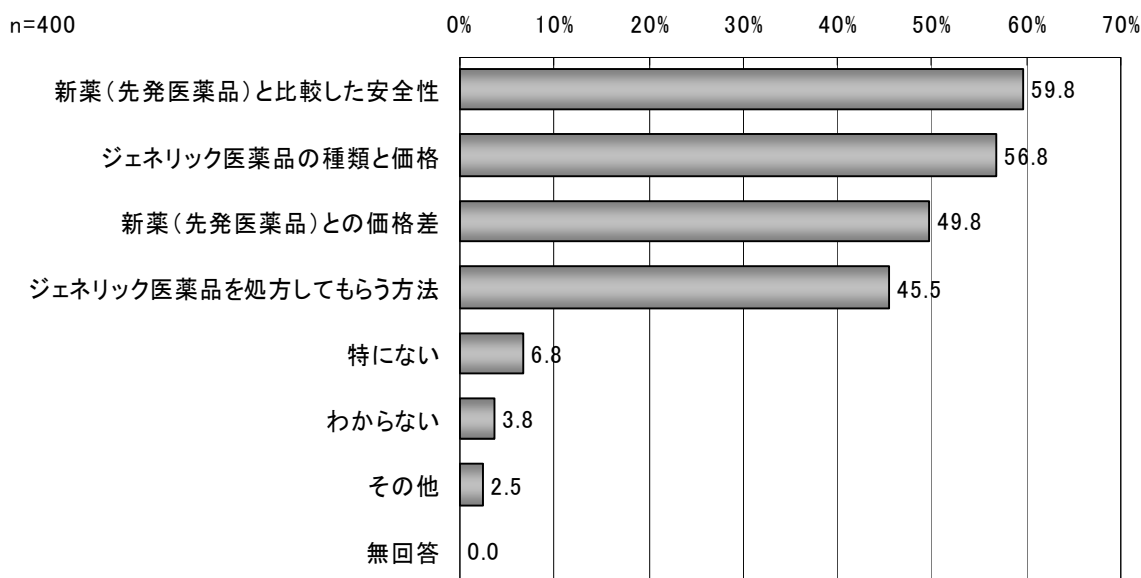
③ 「知っており、利用したいが利用できない」理由の割合

「利用の仕方を知らない」が 63.2%と最も比率が高く、次いで、「自分の傷病に処方される薬にジェネリック医薬品がない」17.6%、「かかりつけの医療機関で取り扱っていない」11.8%、「その他」7.4%とつづく。



(2) ジェネリック医薬品について情報提供してほしいもの

「新薬（先発医薬品）と比較した安全性」が 59.8%と最も比率が高くなっている。次いで、「ジェネリック医薬品の種類と価格」56.8%、「新薬（先発医薬品）との価格差」49.8%、「ジェネリック医薬品を処方してもらう方法」45.5%とつづく。いずれの項目に対しても関心度は高くなっている。



性別にみると、「新薬（先発医薬品）と比較した安全性」は女性が男性より 10 ポイント以上比率が高いのが目立つ。

年齢別にみると、50代で「新薬（先発医薬品）との価格差」や「ジェネリック医薬品の種類と価格」で比率が高いのが特徴である。

Q10: ジェネリック医薬品について医療機関や、行政から情報提供してほしいことは何ですか。[MA]

	全体 (実数)	新薬 （先発 医薬品） とジェ ネリック 医薬品 の安全 性比較	新薬 （先発 医薬品） との価 格差	ジェ ネリック 医薬品 の種類 と価格	ジェ ネリック 医薬品 を処方 する方 法	その他	特 にな い	わ か ら な い	無 回 答
全体 (実数)	400	59.8	49.8	56.8	45.5	2.5	6.8	3.8	0.0
性別:									
男性	235	54.9	48.5	56.2	46.4	2.1	6.8	3.8	0.0
女性	165	66.7	51.5	57.6	44.2	3.0	6.7	3.6	0.0
年代:									
20代	85	61.2	54.1	56.5	43.5	2.4	5.9	8.2	0.0
30代	95	62.1	40.0	49.5	47.4	1.1	5.3	4.2	0.0
40代	100	58.0	52.0	54.0	40.0	3.0	11.0	3.0	0.0
50代	73	57.5	61.6	72.6	54.8	2.7	2.7	1.4	0.0
60以上	47	59.6	38.3	53.2	42.6	4.3	8.5	0.0	0.0